

吉賀中だより

令和7年7月18日
吉賀町立吉賀中学校
(文責：城市)

令和7年度 学校教育目標

「自他を大切にし、共に自らの可能性を広げる生徒の育成」

さて、いよいよ1学期が終わり、明日7月19日からは8月31日までの44日間の夏休みになります。夏休みは1年間の中で最も長い休みの期間ですので、生徒の皆さんはこの夏休みを節目の一つとして、進級・入学してからの1学期間の生活を振り返ってみてください。この1学期の間にどんな力が伸びたのか、どんなことができるようになったのか。逆に力が伸びきらなかったのはどんなことだったのか、一つ一つを振り返り今後一層力を入れる必要のあることや修正をしていくことなど、2学期に向けた準備を進めながら夏休みを有意義に過ごしてください。

また、健康に留意し事故や病気には十分に気をつけて過ごしてください。様々な感染症や食中毒、熱中症、水難事故や交通事故など気をつけることはたくさんありますが、規則正しい生活リズムを心がけ、家族・地域の一員としての自覚をもち行動に表してみてください。2学期始業式(9月1日)に生徒の皆さんの元気ではつらつとした笑顔に出逢えることを楽しみにしています。

保護者の皆様には、先週末は個人懇談・三者面談にお越しいただきありがとうございました。1・2年生は、この1学期のお子様の学校生活の様子や学習の様子などを中心にお伝えさせていただきました。また、3年生は希望進路の実現に向けてのお話を生徒も交えてさせていただきました。生徒一人一人が2学期も一層の成長と躍進をしていくことができるよう今後も保護者の皆様と協力をしながら教育活動を行っていきたいと思います。どうかよろしくお願いいたします。

校内弁論大会を行いました

全校生徒が弁論文を書き、学級弁論大会を経た学級代表8名による校内弁論大会を7月16日(水)に開催しました。全校生徒に加え保護者の方も参観される中で、弁士はかなりの緊張感があつた様子でしたが、弁士一人一人の日頃からの様々な思いや気づき、考えが次々に熱く語られ、問題意識の高さがしっかりと伝わってきました。

1年	さん	「私の将来の夢」
3年	さん	「正解」
3年	さん	「大好きから始まる夢」
1年	さん	「周りからの支え」
1年	さん	「私が私であるために」
2年	さん	「一年間の成長」
3年	さん	「職場体験の経験」
2年	さん	「友達」

【発表順】

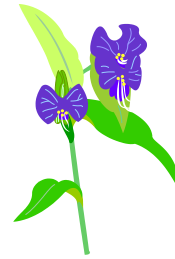
審査の結果、学校代表に次の弁士が選ばれました。学校代表の2人の弁士は9月3日(水)に日原中学校で開催される「少年の主張鹿足郡大会」にて出場します。これから夏休みも利用してしっかり練習に取り組み、力を出し切って欲しいと願っています。

◇学校代表(2名)

最優秀賞 1年 さん 優秀賞 2年 さん

めざす生徒像

- 誠実な生徒 【敬愛】
- 自ら行動できる生徒 【自主】
- 新たな表現のできる生徒【創造】
- 学び合い高め合う生徒 【剛健】



応急手当講習をしました

7月3日(水)に益田広域消防署六日市分遣所から4名の消防隊員にお越しいただき、心肺蘇生や人工呼吸、AED(自動体外式除細動器)の使い方などの応急手当講習を行いました。夏季は水難事故や熱中症など、様々な事故が起こることがあります。もしも命に関わるような緊急性の高い事故に遭遇した時に、その場で対処できるように備えておくことが必要になります。その備えのためには、今回のような応急手当の方法や手順についての講習がとても大切になります。今回得た知識や経験を使う機会が起こらないのが一番良いのですが、いざという時にはまず人を呼ぶことと共に、学んだことを勇気をもって実践できるとよいと思います。



3年生修学旅行 楽しかったぁ！

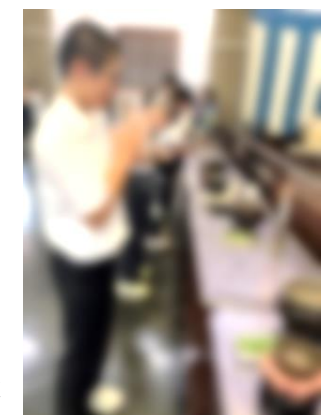
6月25日(水)～27日(金)の2泊3日の行程で、3年生は東京方面へ修学旅行に行ってきました。出発前は関東方面への台風の接近による強風や大雨の予報にヒヤヒヤしましたが、幸いにも初日以外は好天に恵まれとても有意義な学びの多い修学旅行となりました。

初日は、東京大空襲戦災資料センターでの見学と語り部さんのお話が心に残った生徒が多かったようです。先の第2次世界大戦においては、広島・長崎の原爆、沖縄戦の被災が良く取り上げられますが、東京大空襲は何日にもわたり繰り返された空襲により10万人以上の方が犠牲になりました。戦争の悲惨さと平和の大切さを強く心に刻むことができました。

2日目は、班別自主研修と東京ディズニーランドの見学でした。事前に調べた見学地を自分たちで立てた計画に沿って移動し研修しました。JRや地下鉄など初めて利用する生徒がほとんどで、ドキドキしながらの研修になりましたが、どの班もほぼ計画通りに研修を終え、東京ディズニーランドでも楽しく過ごせたようです。ただし、一日中歩き回ったためかなり疲れた様子でした。

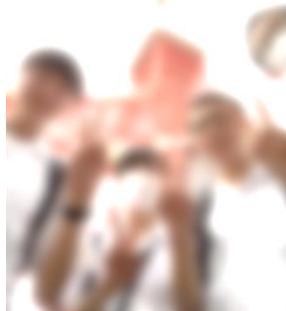
3日目は、国会議事堂や東京スカイツリー、日本科学未来館の見学でした。知ってはいるけれど初めての現地の見学で、感慨もひとしおだった様子です。見学後予定通りに飛行機で萩・石見空港に帰り、吉賀町へはやや早めに全員無事に帰着しました。

たくさんの楽しい思い出と学びを持ち帰ることができたと思います。ですので、この思い出と学びを今後の学校生活にしっかり活かしてくれるものと期待しています。





もんじゃ焼き体験しました



吉賀高校アントレプレナーシップ発表会

7月15日（火）に吉賀高校の「アントレプレナーシップ（以下アントレ）発表会」に全校生徒で参加してきました。この発表会は、吉賀高校の総合的な探求の時間に取り組んでいる「アントレプレナーシップ教育」の一環として、吉高生が取り組んだプロジェクトの成果を発表するもので、本校では「吉賀高校のアントレ発表会を見学することで、自身の将来像を見据え今後の中学校生活における取組について考える機会とする」ことをねらいとして参加しました。今回に先立ち、7月11日（金）に事前発表会を開催いただき、これも全校生徒で参加してアントレ発表会への理解と興味・関心を高めての発表会参加でした。

事前発表会参加のお陰で、生徒一人一人が興味や関心をもったブースでの発表に向かい、どの生徒も真剣に発表に聞き入り理解を深め学ぶことができました。さすがに高校生の発表ですので、本校生徒には若干難しい内容もあった様子でしたが、今後の学習活動へのとても良い影響を受けることができました。吉賀高校の生徒、教職員の皆さん、ありがとうございました。

本校を始め町内の3中学校と吉賀高校は、県教育委員会から中高一貫教育の指定を受けています。今後も様々な教育活動において吉賀高校との連携を深め、中高一貫教育を推進していきたいと考えています。



ABC理論のいろいろ これから活用してみませんか？

A B C理論という、心理学ではアルバート・エリスの提唱した論理療法の中心概念として有名です。出来事(A: Activating event)、信念(B: Belief)、結果(C: Consequence)からなる認知に焦点をあてた考え方で、人は目の前の出来事や事実(A)の受け取り方(B)により結果(C)として生じる感情や行動が決まるというものです。

例えば、「またテストで悪い点を取った。自分はダメな人間だ。もうあきらめよう。」というような思考で自分を苦しめていると、どんな努力も辛く残念な結果ばかりに見えてしまいます。ですがこの時、取れている点数や正解できている部分に注目して、「たとえ悪い点数でも出来ていることがあるのだから、頑張ればまだまだ点数は伸びるんじゃないだろうか」と捉え方を変えてみます。すると、「もう少し頑張ってみようかな」とか「学習に取り組む時間を増やしてみようかな」といった前向きな取組や意欲に変わってきます。

つまり、出来事や事実を変えることはできないけれど、その出来事の解釈や考え方などの受け取り方を変えることにより、結果や感情、行動を変えることができる、というものです。簡単に言うと、「物事の捉え方をこれまでとは変えてみる」ということなのです。

平素上手く進んでいないことなどの結果ばかりが目立つとき、この「A B C理論」により捉え方を変えてみると新たな行動や意欲が出てくるものなのです。私のみならず多くの方がご存じだと思いますが、こういう物事の捉え方を「ポジティブ・シンキング」と呼んでいます。結果にばかり執着せずに、捉え方を変えてみる。昨年の11月号で掲載した「人間の脳の癖」（認知的不協和で説明しています。読まれていない方は本校ホームページからご参照ください。）を再認識し、出来ていないことよりも「実は既に出来ていることがある」というところにしっかりと目を向けて捉え直しをすると良いと思います。

上記のこととは別に次のような考え方もあります。

車のハンドルを右に切れば右に曲がり、左に切れば左に曲がる。物事を前向きにとらえれば考え方も前向きになる。逆に後ろ向きに捉えれば考え方も後ろ向きになる。その結果を「運命」と呼ぶ人もいる。であるならば、運命の巡り合わせを変えることもできるのではないかと。天命ととらえるか不幸ととらえるかなのである。つまり、結果を求めることよりも、とらえ方や取組・途中過程に必至になって取り組んでみるのが大切なのだということになる。だから、

- A：あたりまえのことを
- B：バカになって
- C：ちゃんとやる

簡単でつまらないこと、小さくて地味で目立たないこと、そういう当たり前のことを、バカになって、ちゃんとやることで新たなものが見えてくる。これは、小宮一慶さん（経営コンサルタント）が唱えている「A B C理論」です。

これら2つの考え方を元にしたのが「吉賀中A B C」です。（これは毎年1学期の始業式で2・3年生だけに話しています。）

吉賀中	A：あたりまえのことを
A B C	B：ばかにしないで
	C：ちゃんとやる

A tarimaenokotowo
B akanisinaide
C hantoyaru

を日々心がけた生活を大切に生きていきたいと考えます。

日々当たり前過ぎ過ぎてしまっているだけでは何も見えてこないし何も気がつかないままです。いいかげんな気持ちで、ただ型どおりにこなすのではなく、心を込めてばかにしないで丁寧にやり通す。真剣にばかにしないでちゃんとやることで、気がつかないことにも気がつくことができ、見えないことも見えてくる。そうすることで学校生活や人生がお互いの尊厳を大切にし、お互いに良い方向へと進んでいくに違いない。些細な日々の当たり前のことを大事なことで感謝し、大切に意識することが必要だと考えています。夏休みを契機に「吉賀中A B C」を再度意識して、これまでにない素敵な夏休みを過ごして欲しいと思います。

